

第8回久留米市コミュニティ審議会 会議録要旨

- 日 時 平成24年10月23日（火） 午後2時～午後3時10分
- 場 所 久留米市役所 3階 305会議室
- 出席委員 古賀（倫）委員、満岡委員、溝口委員、竹村委員、下川委員、松田委員、有馬委員、井手委員、湊本委員、宇野委員、岡委員、中野委員、佐藤（理）委員、今村委員、村井委員、吉丸委員、佐藤（光）委員、伊崎委員、江良委員、高山委員（20名）
- 欠席委員 古賀（桃）委員、池田委員、古賀（慶）委員、吉田委員
- 次第及び議事内容
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 第7回審議会について
 - ① 会議録（案）について
 - ② 会議録要旨（案）について
《原案どおりです承》
 - (2) 住民の参加促進について [2-(3)]
 - ① 答申骨子（案）について

【主な質疑応答】

 - （委員）女性の参画促進や人材育成に向けては、委嘱学級での学習やそれを通じた校区の行事等への参加が有効である。[2-(3)]
 - （委員）校区まちづくり活動に一生懸命に取り組んでいるが、現在の文章表現では、そのことが評価されているようには伝わってこない。[2-(3)]
 - （委員）地域の行事には、市の職員は、積極的に参加してほしい。[2-(3)]
 - （委員）市民活動を進める条例に自治会加入の努力義務が規定してあるが、そのことをほとんどの人が知らない。積極的にPRすべきである。[2-(3)]
 - （会長）今回は、市民意識調査の結果から、市民の方が自治会や校区コミュニティ組織に対して望んでいると読み取れる事項を課題として捉え、その解決に向けて答申骨子案を作成した部分がある。[2-(3)]

- (委員) 幅広い住民の参加に向けていろいろな工夫をしているし、課題があれば検討して次回に活かすようにしているが、現在の活動が魅力的ではないと言われているように思う。[2-(3)]
- (委員) 全市域で校区コミュニティ組織が設立されたにもかかわらず、総合支所所管区域を一単位として扱う市の事業があり、平成 26 年度まではこれを容認していると聞く。市は基本方針を示すべきだ。[2-(3)]
- (会長) 「より魅力的な」という部分は削除し、表現を検討する。[2-(3)]
- (委員) 市内の NPO 法人が 110 団体ほどあるが、女性の代表者が 41%ほどいらっしゃる。役員を含めると 50%を超えるかもしれない。リーダーシップを持っている女性が、地域から NPO やボランティアにシフトしているのではないか。[2-(3)]
- (委員) NPO やボランティアは、活動の時間帯や分野の選択が可能であるが、地域では選択肢が少ないのではないか。[2-(3)]
- (委員) 地域にあっては、匿名でもいいので意見してもらい、それを汲み取る仕組みをつくってはどうか。[2-(3)]
- (委員) 行政文書では困難かと思うが、この場の皆さんが共有している意識がにじんでくる表現になればいい。[2-(3)]
- (委員) いくつかの選択ができる校区内でのボランティア活動を行うことを、校区コミュニティ組織の活動への参加と捉えるシステムづくりができないか。[2-(3)]
- (会長) 現在も校区コミュニティ組織はがんばっているが、さらに工夫改善ができれば住民の参加促進につながるという趣旨となるよう、表現を検討する。[2-(3)]

4 その他

○次回委員会日程：11月20日（火）午前9時30分から